

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	中咽頭癌放射線治療例における HPV 陽性・陰性別の再発形式の検討 [倫理審査受付番号：第 5043 号]
研究責任者氏名	山門亨一郎
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 5 月 28 日 ～2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 中咽頭癌 / 診療科名等：放射線科・耳鼻咽喉科頭頸部外科 ----- 受診日：西暦 2014 年 12 月 1 日～ 2024 年 9 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ()
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他 ()
研究目的・意義	中咽頭癌はヒトパピローマウイルス（HPV）の関与により病気の経過や治療効果が異なることが知られています。HPV 陽性の中咽頭癌は治療後の経過が良い傾向にあると報告されています。しかし現在のガイドラインでは HPV 陽性の中咽頭癌で放射線治療の強度を弱めることは推奨されていません。本研究では HPV 陽性・陰性ごとに再発の形式の違いを後ろ向き研究として調べます。これにより、HPV 陽性症例で放射線治療の強度を弱めても、同等の治療効果で副作用の少ない治療を実現できる可能性を検討します。
研究の方法	本研究は後ろ向き解析として行います。本研究の対象は、2014 年 12 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までに兵庫医科大学病院において中咽頭癌に対して根治的放射線治療を施行された患者さんです。電子カルテから年齢、性別、喫煙歴、原発部位、臨床病期、併用療法、HPV 陽性・陰性、および再発の有無、再発時期、再発部位を抽出します。放射線治療計画データから、線量分布を抽出します。以上の収集したデータをもとに、HPV 陽性・陰性別の中咽頭癌の再発形式の評価、およびその再発形式の違いに関する要因の解析を行います。

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：放射線科 担当者氏名：富士原将之、吉村奈穂美 [電話]（平日 8:30～16:45）0798-45-6800 （上記時間以外）0798-45-6111